

「アドヴァンスサロン」一九七八年十月（ADE研究会）

●対談風評論

教育の海外輸出

（無記名）

A 最近わが国のプラント輸出がだんだん目立つようになりましたね。

B そうですね。それが日本の海外諸国、特に発展途上国の生活の向上に役立つようになるとよいと思えますね。日本も漸くそういうことを考える身分になったということではないでしょうか。

A しかし、そういう考え方より、利潤追求の思想が出て、海外ではあまり評判は良くないようですね。

B そうですね。もうこれ以上エコノミック・アニマルの愛称（？）は売り込みたくないものですね。

A 何とかならないものでしょうかね。もう少し、あちらの国や人々が為になったという印象を受けるような商売の仕方はないものでしょうか。向こうの人々の為になる厚生施設をつくってあげるとか。

B さあ、それは無理でしょうね。いつかインドに対して救済事業に寄付をしたということがありました。そういうことはむやみに成立するわけ

ではありませんから。

A 教育事業に援助をするというようにすることは考えられませんか。

B さあ、それもなかなか簡単にはいかないんじゃないですか。自然なあり方として、そういうことが成り立つには、よほど長期にわたってその国と交際を深めて、それから自然に出来るようになるから。そこまで行くのに時間がかかるでしょう。

そうそう、そういうことなら、もっと手近な所に考える道があるかもしれないですね。さっきあなたがおっしゃったプラント輸出なんかは、よい入口かもしれませんね。

A とおっしゃると？

B いや、それも私の夢かもしれないせん。今の日本人には。

A ますますわかりませんね。今の日本人とおっしゃいましたね。

B いやそれは、あなたが言われたエコノミック・アニマルの日本人ということですがね。もう少し、金も受けばかりでなく、商売相手の事情

を考えられたらと思うのですがね。どうも日本人は余裕がなさすぎるようです。どうしてでしょうかね。

A そう、どうして利潤追求一点張りになってしまったのでしょうかね。そこへばかり熱が入りすぎて、このままいくと何か恐ろしいことになりそうな気がします。

B 国内でも過当競争、国外でも、どうして、そう競争ばかりしたがるのでしょうかね。多分それがエコノミック・アニマルの名称を生み出したのでしょか。子供の頃から受験受験、出世出世と頑張りつづけたからかもしれませんね。

A そうだとすると、現代の受験競争などというのは、恐ろしい結果を生むかも知れませんね。

B その受験競争がいけないのは、何の理想もなく、ただ勝てばよいという事になっていくということですね。今の学校には、それが自分の人生をどう育てるかということを教えることがないのです。馬券を買っているような所がありますね。いい学校は馬券売場なのでしょう。後で収入になることしか意味がありませんからね。

A アツハハ・・・。学校は馬券売場ですか。そういえば似ていますね。あの異様なムードは。しかしある意

味のエネルギーも感じられますね。そうすると学習塾は場外馬券売場ということになりますね。なるほど。

場外馬券売場が六〇万もあるとすると、いやこれは大変なことですね。

B そう、あのムードで攻め寄せられたら、ちよつとよその国もこまるのではないですか。羽蟻の大群にやられて来たようなものでしょう。

しかし、そのエネルギーが反対に何かの種まきに使われたら、これはまた素晴らしいことになるでしょうね。

A ふむ、種まきにねえ。そうか、それでプラント輸出とおっしゃったのですね。

B しかも、今のプラント輸出は、種まきより蚕食のためですがね。しかしそれには必ず、人をつくること。がどうしてもつきまとわなければならぬでしょう。そこへエネルギーをかけて、人づくりで役に立つと、喜ばれることになるでしょうが。

A しかし、人づくりというと学校ということになります。それが馬券売場では困ることになるのではないのでしょうか。

B そうなんです。それではとても海外には通用しないのです。特に発展途上国へはね。それについてはこの頃しばしば話を聞くのですが、かなり多くの日本企業が、広い意味

でよその国の人に教育をする、研修の手伝いをするという機会は増えているようです。しかしどうもあまり効果は上がらないですね。プラント輸出にともなう、人材開発を依頼されるといふ企業が多いようですが、それをエコノミック・アニマル的センスで考えるから、日本の企業はあまり本気にならないですね。

特にそれを直接担当する人達は、何かというと相手のレベルが低いので閉口だなどというのですね。つい一世紀前までは自分もその低い仲間だったくせに。

**A** 成り上がり者のセンスかもしれないですね。

**B** そう田舎っぺなのです。それが最もよくあらわれるのは、日本流の学校教育的知識注入教育を押しつけるのですよ。教育というと、あの先生が黒板をしょって講義をするというあれを思い浮かべるのですね。

**A** 人は誰でも自分の受けた教育を最上のものだと思いがちですからね。

**B** そうそう。なんだかよくわからないがともかく暗記をして、テストを突破しようという、あのムードを押しつけようとするのですよ。全く田舎っぺというか、何と言うか。

**A** 発展途上国の人々は、やり切れんということですね。

**B** そうでしょうね。日本の人はそうすると、それを落ちこぼれという例の概念で片づける。人間を育てるなどという感覚がないのですよ。日本で世界的な企業といわれる所の人たちの本音を聞くと、大部分がみなそういうセンスを持っていますね。そういう人たちがエリートなんですよ。

**A** 困りましたね。日本人は優秀だという思想のうらがえしですね。

**B** 本当に優秀なら、そういう物の言い方はしないのですがね。

**A** それは是非とも直してもらわなければ。そういえば日本人はなんでも一等か二等かというのが好きですね。これもテスト教育の影響でしょう。すぐ勝ち負けという結果です。

**B** 同じ勝ち負けをいうなら、人材開発の点では人に負けないようにと考えてほしいものですね。

**A** しかし、そうなるとこれはなかなか大変なことですね。簡単にはいかない。何か日本人の体質のようなものがあるのかも。

**B** そう、本当にすぐれた民族なら、やはりフィロソフィーをもった文化人にならなければね。経済大国などというのは、馬券を買う程度でもなれますがね。

**A** 今は政治家も、財界も、役人も馬券あさりをやっているんで、これはなかなかむづかしい。

**B** そう、そういう全体的なムードを切りかえるのは大変でしょうね。いわゆる文化人という人たちも、馬券買いムードの中で生きていますから。ですから一挙には行きませんよ。せめてプラント輸出とか、海外研修生の受け入れに、本格的な体制をつくって万全を期するとかいう所から始めていくことでしょう。

**A** なるほど。

**B** それだつてなかなか大変ですね。今の日本の講義式教育、受験教育などというものは、質から見たら教育などというものではありませんからね。それでもやっていけるのは、みんな学校を出てから仕事の世界で身につけるからなのです。その仕事を一生懸命やるという点が、それがまさに日本民族の優秀さなのでしょう。その仕事を身につける仕方を科学的にすることが、本当の教育をつくりあげるものになるのでしょうか。

**A** それはどんな教育になるのでしょうかね。

**B** それは生活が教育する、行動が教育するということをもとにした教育でしょうね。うすっぺらな言葉で人はつくれませんよ。

**A** 行動による教育のプログラムを開発するということですか。

**B** まあそう簡単にはいえませんが、最後は人間の問題に帰着しますね。今は人間を見ないで、外側の物ばかりを見て教育をやっていますからね。人間がどんなふうに行動を積み上げていくのか、あるいは生活をつくりあげていくのかという点から教育を考え直すと、大変な転換になるでしょうね。今は知識とか技術とかという抽象されたものを与えれば人間ができると考えていますが、コップ

じゃあるまいし、そんなもの詰め込んだくらいで本当の人間はできませんよ。だんだん世の中に人間がいなくなつたと感ずるのは、やっぱりそういう教育を百年もやってきたからですよ。

**A** その汚れを洗い落とす所から始めるということですか。

**B** そうヘッドロが一杯ですからね。しかしそれを落とすのも、行動によつてですから、行動による教育をもつと本気になつてやることではないですね。